

JR松山駅 仮設構内スロープに採用

EDO-EPS工法

四国・愛媛県のJR松山駅は、1953年落成の駅舎を長年利用し、駅改札が有人式であるなどレトロな佇まいを残す駅でしたが、地上駅のため駅周辺の踏切が市街地を分断し渋滞が常態化しているなど都市計画上のネックとなっていました。

そこで、駅の高架化によってその解消を図るとともに、併設されていた貨物駅を移転するなど駅前の再開発によって土地の高度利用化を推進する事業を県と四国旅客鉄道株式会社（JR四国）が共同で推進、令和6年によく高架駅が完成するとともに8か所の踏切が廃止となり、市は新たな一步を踏み出すこととなりました。

ただ、新駅舎の利用開始に際しては、旧駅舎利用終電後から翌日の即時移行ということで、夜間工事一回で全ての切替えをしなければなりません。与えられた時間で隣接する新旧駅舎間にスロープなどを含めた仮



設通路を設ける必要があり、このスロープ部分において「EDO-EPS」ブロックが用いられました。

迅速に工事を進めるため、スロープは工場で設計に基づいて予め加工しており、現地で調整を必要とする工事過程をまるごと短縮。軽量な部材ともあいまってスムーズにスロープが完成しました。



施主:四国旅客鉄道株式会社
工事名:松山駅付近高架化駅工区
施工会社:四国開発建設株式会社
商品名:EDO-EPS工法 60m³



そんな「えきそば」は姫路駅の木暮や駅周辺、加古川や梅田の専門店で提供されるだけでなく、冷凍食品やカップ麺でも販売されており、もしかすると姫路以外でもスープバー等で見たことがある方もいるかも知れません。しかし、実店舗・冷凍食品・カップ麺の全てを制覇した私としてはやはりその食感や軽く粉が残るスープの雑さが特に気に入っています。店舗はメニューも豊富で、定番の天ぷらやき揚げ・とり天・季節限定品（この系など）を食べることができます。冷凍やカップ麺でも一応「えきそば」を運んでいただき、お店の「えきそば」をご賞味いただきたいと思います。

「えきそば」とは、和風だしに中華麺（かんすい入り）を組み合わせた独特な味わいの、蕎麦でもラーメンでもない唯一無二の食べ物です。終戦を起源として誕生しており、七十年以上もの間姫路市民に親しまれています。薄口醤油で味付けされる昆布だしの関西系であつさりした素朴な味わいはあります。が、何度も食べても飽きるところはなく、私も週三で食べに行つたこともあるほど大好きです。

えきそば
中国支店
隅田 真吾
お国自慢

山間部の厳しい立地も工法選びで克服

多数アンカーワーク法
EDO-EPS工法

大分県・耶馬日田英彦山国定公園内

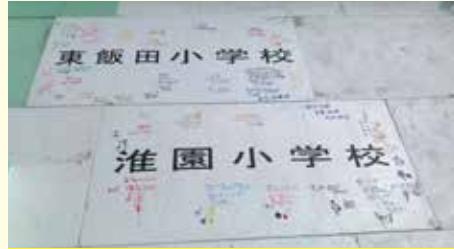
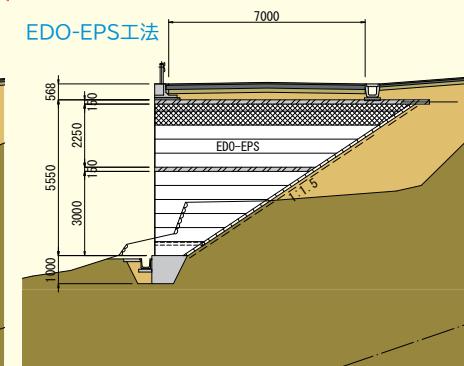
「玖珠山国線」は大分県の玖珠郡玖珠町と中津市山国町を結ぶ主要地方道で、沿道には耶馬日田彦山国定公園の代表的景観である奇岩の断崖「立羽田の景」を望むなど、地域住民の生活から観光の往来に至る多様な交通需要に供されています。

しかし従来、車の行き違いも困難な狭い区間が多く残るなどその利便には問題を抱えその解消が求められていました。そこで令和2年から3年にかけ、既存道の改修ではなく新たなるルートの整備として工事が実施されました。

この新ルートは当地を流れる太田川に沿って施工されており、その厳しい用地条件下で採用されているのが、岡三リビックが提供する「多数アンカーワーク法」と「EDO-EPS工法」です。



多数アンカーワーク法は一般的な補強土壁工法に比べ背面の補強材長を抑えて施工でき、また同時に地盤改良範囲を少なくできること。EDO-EPS工法は超軽量な盛土材で地盤改良の必要がないことがその決め手となりました。



県土木として取り組んでいる「土木未来教室」において、現場に訪れた地元小学生がEDO-EPSブロックに「将来の夢」を書き記し、そのままEPS盛土中に埋設しました。

工事概要

施主: 大分県玖珠土木事務所

工事名: 平成29年度交付地改修

第100号道路改良工事

施工会社: 株式会社井原組

商品名: 多数アンカーワーク法 157m²
EDO-EPS工法 1,144m³

ここ最近、京都の名刹・古刹はオーバーアリズムでどこも芋を洗うような状態だ。それならいつそ寺社巡りはやめて洋風建築を巡る旅などいかがだろうか。京都は戦災を経験していなため実は明治・大正期の建物がかなり現存し、文化財に指定されているものも多いのだ。

重・国重要文化財 有・国有形文化財
市・京都市有形文化財

- ▼北区
- 重・京都府庁舎・議事堂（一八九七年）
- 重・京都國立博物館（一八九七年）
- 重・同志社校舎群（一八九四年）
- 重・京都中央電話局上分局（一九一四年）
- 有・菊水館（一九二六年）
- 重・聖アグネス教会（一八九八年）
- ▼東山区
- 有・大谷大学本館（一九一三年）
- ▼中京区
- 市・京都郵便電信局（一九〇二年）
- 市・旧二条駅（一八九七年）
- 市・京都ハリストス正教会（一九〇三年）
- ▼下京区
- 重・本願寺伝道院（一九一二年）
- 重・龍谷大学校舎群（一八七九年）
- 重・村井吉兵衛長樂館（一九〇九年）
- 重・富士ラビットビル（一九二五年）
- ▼伏見区
- 有・松本酒造（一九二二年）

洋風京都

徒然月記

記: 編集 T



岡三リビック株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル

☎ 03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野
静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡
鹿児島・沖縄リビック・岡三リビックベトナム